

DISPARLON P-465

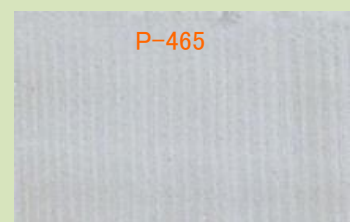
エポキシ樹脂向け
低温(5℃)でも効果のある消泡剤



【試験方法】

主剤をディゾルバーにて 3000rpm-30min 分散。
主剤、硬化剤を混合しディゾルバーにて 2000rpm-1min
直ちに流し塗りし、残った塗料を PP カップに
入れたまま硬化させ断面を観察。

【断面写真】



【配合】

	原料	部
主剤	jER828(エポキシ樹脂)	43.05
	SY-40M(反応性希釈剤)	6.04
	NS-400(炭酸カルシウム)	24.16
	R-820(酸化チタン)	9.06
	DA-325(分散剤)	0.33
	P-465(消泡剤)	0.50
硬化剤	アンカミン 2089K	17.36

【お問い合わせ】

楠本化成(株) 添加剤事業部 本社 03-3292-8685 大阪支店 06-6452-2011
名古屋支店 052-212-4760 福岡支店 092-475-7971

デイスパロンP-465

デイスパロンP-466

デイスパロンP-467

非水系塗料用消泡剤

デイスパロンP-465、P-466、P-467は特殊ビニル系重合物を主成分とし、脱芳香族、シックハウス(室内空気汚染)対応溶剤を用いた環境対応型消泡剤です。特に既存の消泡剤では効果の出難い床材、防水材等の高粘度塗料の消泡に適しています。初期破泡性に優れ、季節変化、塗装環境等の要因にも拘らず、持続性のある安定した効果を発揮します。

■ 性 状 (納入規格ではありません)

	P-465	P-466	P-467
外 観	無色～微黄色液体		
加熱残分	40%		80%
溶 剤	イソパラフィン		
密度	0.800g/cm ³	0.800g/cm ³	0.829g/cm ³
適用塗料極性	高 ← ————— → 低		

※密度は20℃の値です。

■ 用途及び使用方法

- ・ 床材、防水材(エポキシ、ウレタン)、不飽和ポリエステル塗料、UV 硬化塗料、建築塗料(酢ビアクリル、アクリルウレタン等)、重防食塗料(エポキシ等)に適しています。
- ・ 添加時期は塗料製造工程中の各段階で添加可能ですが、塗料化の最終調整段階におけるデイスパー分散が最適です。
- ・ 添加量は塗料配合に対し0.2～1.0%(重量)が標準ですが、使用に当たって添加量を3～5点採り、消泡性、安定性等の総合評価により決定して下さい。

【 お問い合わせ 】

楠本化成 (株) 添加剤事業部 本社 03-3292-8685 大阪支店 06-6452-2011
名古屋支店 052-212-4760 福岡支店 092-475-7971